

5年生社会「自然災害を防ぐ」

授業のシナリオ【ロイロノート活用の流れ】

令和7年1月



国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所

第1時: 自然災害が多い日本の国土 ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

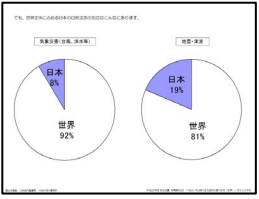
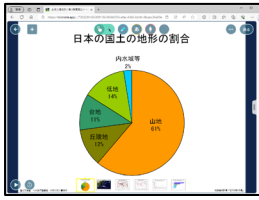
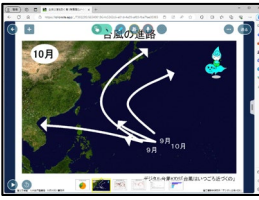
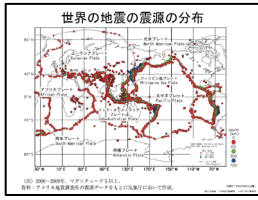
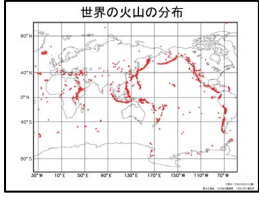
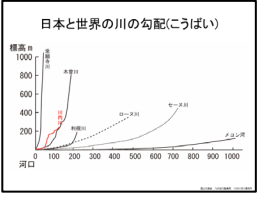
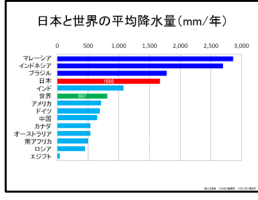
T: 先生 C: 児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
導入 : 10 分	T: 最近日本ではどのような自然災害が起こっているのでしょうか。 (C: 東日本大震災) T: そうですね。それでは以外にどんな自然災害があるのでしょうか。 (C: 大雪, 洪水, 土砂崩れ...) T: これから災害の写真をみてもらいます。テストを配信しますので写真を見ながらそれぞれの災害がどれに当てはまるのか、解答してください。解答が完了したら「答え合わせをする」ボタンを押して下さい。 (C: テストに解答) T: 日本には自然災害がこんなにたくさんあります。今日から私たちは何について勉強していくのでしょうか。 (C: 自然災害。) T: 今日は, これからの授業で自然災害の何について勉強していくか学習問題をつくりましょう。	T: 画面①「テスト_どんな災害の様子だろう」を開く。 「全員で解答」ボタンを押す。 「通常モード」を押す。	画面① どんな災害の様子だろう 「使い方はここから」 全員で解答 編集 解答 結果 出題者 川内 太郎 難易度 6 どんな災害の様子だろう 【1】写真では、どんな災害の様子でしょうか。 配点 1  ☐ 大雪 ☐ 地震 ☐ 噴火 ※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。 (リンク: https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html)

第1時: 自然災害が多い日本の国土 ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T: 先生 C: 児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
展開：30分	T：世界全体に占める日本の国土の割合はどれくらいでしょうか。テストを送りましたので、解答して下さい。解答が完了したら「答え合わせをする」ボタンを押して下さい。 (C：テストに解答) T：世界全体に占める日本の国土の割合はわずか0.28%です。 T：でも、世界全体に占める日本の自然災害の割合はこんなにあります。 T：なぜ日本では自然災害が多いのでしょうか。今からワークシートを配布するので、グループで話し合い、予想をワークシートに記入して下さい。 T：記入は終わりましたか？ では、そもそも地震や水害等の自然災害が起こりやすい理由は何だと思いますか？ (C：山が多いから。) T：なぜ山が多いと災害が起こりやすいのでしょうか。 (C：山では土砂崩れが起きる。) T：そうですね。日本の山地の割合は61%です。日本は山地が多いのですね。 T：他にはありませんか。 (C：海に囲まれている、台風の通り道、地盤プレート、雨が多い、川が急流...) T：日本で自然災害が多い理由をみんなで確認していきましょう。土砂崩れが多い理由は何でしょうか？ (C：山が多い、雨が多い、台風の通り道...) T：他の災害についてはどうでしょうか。	T：画面②「テスト_世界に占める日本の国土面積の割合」を開く。「全員で解答」ボタンを押す。「通常モード」を押す。 T：画面③「配信_世界全体に占める日本の自然災害の割合」を画面配信する。 T：画面④「ワークシート_日本で自然災害が多い理由」を開く。「全員で解答」ボタンを押す。「通常モード」を押す。 T：画面⑤「配信_日本の国土の地形の割合」を画面配信し、山地が多いことを確認する。 T：以降、児童がする内容に合わせて、画面⑥～⑩を画面配信し、確認することを繰り返す。	画面②  画面③  画面④  画面⑤  画面⑥  画面⑦  画面⑧  画面⑨  画面⑩  ※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。 (リンク：https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html)

第1時:自然災害が多い日本の国土 ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T:先生 C:児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
展開：30分	T：これからシンキングツールを配布します。 真ん中の災害の種類（写真）に合う災害のデータ、そして災害が多い理由を繋げてみましょう。 T：繋げる作業が終わったら、グループの中で確認しましょう。 T：では、グループから発表をお願いします。（1グループ程度）	T：画面⑪「シンキングツール_災害が起こる理由まとめ」を生徒に配布。	画面⑪ <災害のデータ リスト> 災害のデータ 災害の種類 災害が多い理由 <災害が多い理由 リスト>

第1時: 自然災害が多い日本の国土 ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T: 先生 C: 児童

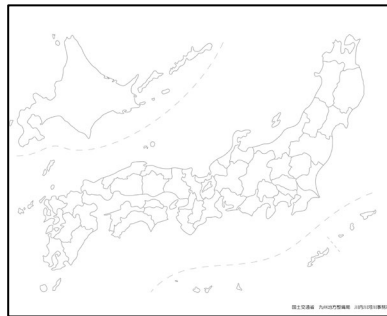
流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
まとめ : 5分	T: 日本には、自然災害が起こりやすいさまざまな理由があるのですね。 T: では、これだけ自然災害が起こっているということは、災害で亡くなっている人の数も多いのでしょうか。 T: 今から配信する画面を見て下さい。日本の占める割合はたったの1.14%です。日本では自然災害が多いのですが、実は亡くなっている人の数は少ないのです。なぜなのでしょう。 T: ワークシートを配布しますので、自分の考えたことをワークシートにまとめ、記入が完了したら「答え合わせをする」ボタンを押して下さい。（C: ワークシートへ記入） T: 自然災害に対する備えが何かありそうですね。それでは、次の時間からはそのことについて調べていきます。	T: 画面⑫「配信_世界全体に占める日本の災害で亡くなっている人の割合」を画面配信する。 T: 画面⑬「ワークシート_自然災害が多いのに亡くなっている人の数が少ない理由」を開く。「全員で解答」ボタンを押す。「通常モード」を押す。	画面⑫ 画面⑬

第1時:自然災害が多い日本の国土 参考資料

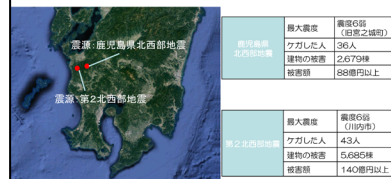
流れ

導入
：10
分

參考資料

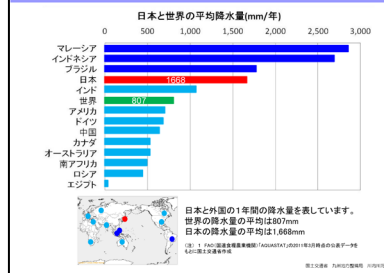
[illegible]

平成9年3月26日に鹿児島県北西部を震源とする鹿児島県北西部地震が発生しました。さらに5月13日にも大きな地震が発生しました（第2北西部地震）。連続して大きな地震が起こったことで、建物や道路などに大きな被害が出ました。

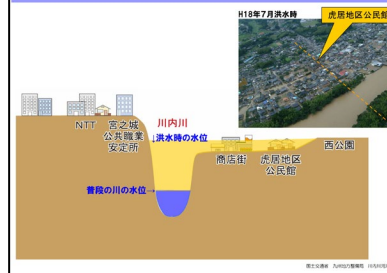


展開
：30
分

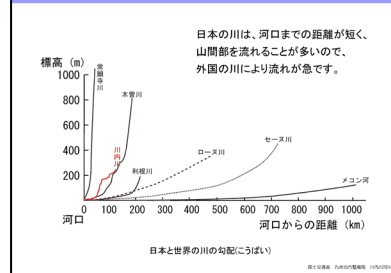
1 日本と世界の降水量



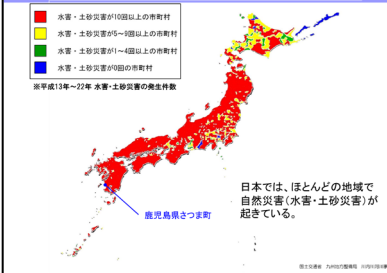
2 平成18年洪水時のまちの高さと川の水面



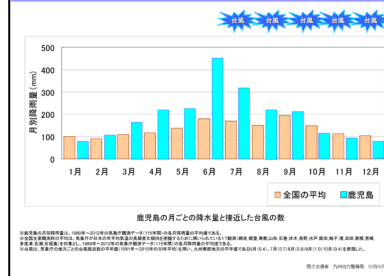
3 日本と世界の川の勾配(こうばい)



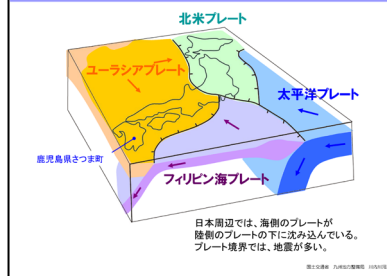
4 日本の水害・土砂災害の発生回数



5 雨が多い季節



6 日本周辺のプレート



第2時:地震災害への取り組み ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T：先生 C：児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面								
展開：30分	T：日本のどこでも地震災害が起きる可能性があります（プレート・断層）。最近では、熊本県で大きな地震がありました。 T：地震災害から命を守るために、どのような取り組みがされているのでしょうか？ （C：耐震工事、緊急地震速報など） T：災害が発生してしまった場合は、国で「災害対策本部」がつくれ、被災地の自治体に「リエゾン」を派遣して復旧の手助けをしたり、被災地に直接「TEC-FORCE」を派遣して復旧作業にあたったり、状況調査をしたりします。 T：鹿児島県で地震が起ってしまったときのために、みなさんが自分や家族を守るためにできることはないでしょうか？今からワークシートを配布するので、グループで話し合い、考えたことをワークシートに記入して下さい。 （机の下に隠れる、避難する、家具が倒れないようにしておく、地震情報をチェックしておくなど）	地震のメカニズムについて確認する。 T：画面⑤「配信_日本周辺のプレート」を画面配信する。 T：画面⑥「配信_日本／九州の断層マップ」を画面配信する。 T：画面⑦「配信_地震マップ」を画面配信する。 T：画面⑧「配信_緊急地震速報」を画面配信する。 T：画面⑦⑧をまとめた画面⑨「配信_防災情報を早く正確に伝える」を画面配信する。 ※他児童の意見を分類しながらまとめる。 T：画面⑩「配信_TEC-FORCEの活動」を画面配信する。 T：画面⑪「配信_リエゾンの活動」を画面配信する。 T：画面⑩⑪をまとめた画面⑫「配信_災害が起こった時に復旧・再発防止をする」を画面配信する。 T：画面⑬「ワークシート_地震から身を守るためにできること」を開く。 「全員で解答」ボタンを押す。 「通常モード」を押す。	画面⑤	画面⑥	画面⑦	画面⑧	画面⑨	画面⑩	画面⑪	画面⑫	画面⑬

※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。
(リンク：<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>)

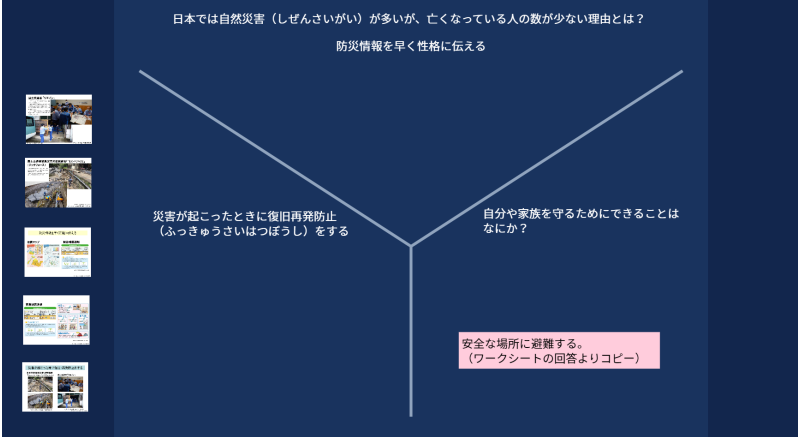
※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。
(リンク：<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>)

※赤字：ロイロノート活用に伴い追記した箇所

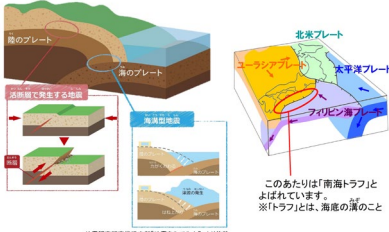
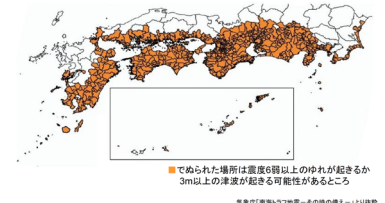
第2時:地震災害への取り組み ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T:先生 C:児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
まとめ :5分	T:国や県,市町村では,地震の被害を減らすための取り組みをしているのですね。また,地震が発生しそうなときには,みなさんに早く知らせるための仕組みがあります。気象庁も,情報を発信しています。 T:これからシンキングツールを配布します。 3つに分かれたそれぞれ質問に合う理由と思うデータを,それぞれの枠にあてはめてみましょう。 T:あてはめる作業が終わったら,グループの中で確認しましょう。 T:では,グループから発表をお願いします。(1グループ程度) T:もし地震が発生してしまった時には,国や県,市町村が出した情報をもとに一人ひとりが正しい行動をとって,自分や家族の命を守るしかありません。きちんとした備えが必要ですね。	T:画面⑭「シンキングツール_自然災害が多い日本で亡くなる人が少ない理由」を生徒に配布。	画面⑭ 

※赤字：ロイロノート活用に伴い追記した箇所

流れ	参考資料
展開 ：30 分	南海トラフ地震 地震が起こるメカニズム  このあたりは「南海トラフ」とよばれています。 ※「トラフ」とは、海底の溝のこと 地震調査研究推進本部「地震をみてみよう」より抜粋 南海トラフ地震 南海トラフは、今までになんども大地震を起こしていて、次の南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくないとされています。  ■でぬられた場所は震度6以上のゆれが起きるか3m以上の津波が起きる可能性があるところ 気象庁「南海トラフ地震—その時の備え—」より抜粋

第3時:津波災害への取り組み ロイロノート活用の流れ

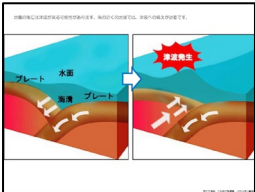
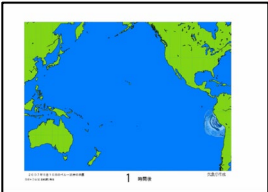
●ロイロノートを活用した学習の流れ

T:先生 C:児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
導入：10分	T：前回の授業では、地震が起きるしくみと、地震災害の被害を防ぐための取り組みについて学習しました。今回は津波の災害について学習します。知っている津波災害はありますか？ (C：東日本大震災) T：津波はどんなところで起こるのでしょうか？ (C：海の近く、震源地の近くなど) T：東日本大震災では、15,800人以上の方が亡くなったそうです。岩手県にある普代村という小さな村ですが,亡くなった人は0人だそうです。なぜでしょうか。 (C：だれかが何かをした,避難するように放送した) T：なにか取り組みがありそうですね	T：画面④「配信_東日本大震災の津波の被害の写真」を画面配信する。	画面④  津波(宮城県普代村) 2011年3月11日撮影 ※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べすることも可能です。 (リンク：https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html)

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T:先生 C:児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面												
展開 :30分	T：地震の後には津波が来る可能性があります。海の近くの地域では、津波への備えが必要ですね。 T：津波は地震が起きた場所から輪のように広がり、津波のエネルギーが大きい程遠くまで届きます。過去には、ほとんど地球の裏側にあるペルーで起きた津波が日本まで届いたこともあります。 T：普代村では1896年に津波により1,000人以上の犠牲者が出ました。そこで岩手県では、二度とこのようなことが起こらないように水門と防潮堤を建設しました。この水門と防潮堤が東日本大震災の津波の被害を防いだのです。 T：津波災害から命を守るために、どのような取り組みがされているのでしょうか？ (C：防潮堤、ひなたタワー、津波記念碑を残すなど) T：鹿児島県で津波が起ってしまったためのために、みなさんが自分や家族を守るためにできることはないでしょうか？今からワークシートを配布するので、グループで話し合い、考えたことをワークシートに記入して下さい。 (津波ハザードマップを見る、避難する、情報収集をするなど)	T：画面②「配信_津波発生のおしるし」を画面配信する。 T：画面③「動画カード_2007年8月16日ペルー地震で発生した津波の伝わり方」を画面配信する。 T：画面④「配信_岩手県普代村の水門の写真」を画面配信する。 T：画面⑤「配信_岩手県普代村の防潮堤の写真」を画面配信する。 T：画面⑥「配信_津波タワー」を画面配信する。 T：画面⑦「Webカード_ハザードマップ」を画面配信する。（薩摩川内市とさつま町の二種類あり） T：画面⑧「配信_津波警報」を画面配信する。 T：画面⑨「配信_津波から地いきを守るための取り組み」を画面配信する。 T：画面⑩「ワークシート_津波から身を守るためにできること」を開く。 「全員で解答」ボタンを押す。 「通常モード」を押す。	画面②  画面③  画面④  画面⑤  画面⑥  画面⑦ (薩摩川内市)  (さつま町)  画面⑧ <table><tr><th>種類</th><th>予想される津波の高さ</th><th>予想される被害と取るべき行動</th></tr><tr><td>大津波警報</td><td>5m以上</td><td>木造の家は壊れたり、流されたりする。 ○海や川の近くにいる人は、高台やひなたなどに早めに避難する。 低い土地では津波が襲く。</td></tr><tr><td>津波警報</td><td>1~3m</td><td>○海や川の近くにいる人は、高台やひなたなどに早めに避難する。 小さな船や小舟は沖に避難される。</td></tr><tr><td>津波注意報</td><td>20cm~1m</td><td>○海の中にいる人は、海からはなれる。</td></tr></table> 画面⑨ ひがいをへらすために必要な対さをする  画面⑩ 津波から身を守るためにできること (1) 津波警報が発表されたら、すぐに避難する。避難するときは、必ず津波警報が発表された地域から避難する。	種類	予想される津波の高さ	予想される被害と取るべき行動	大津波警報	5m以上	木造の家は壊れたり、流されたりする。 ○海や川の近くにいる人は、高台やひなたなどに早めに避難する。 低い土地では津波が襲く。	津波警報	1~3m	○海や川の近くにいる人は、高台やひなたなどに早めに避難する。 小さな船や小舟は沖に避難される。	津波注意報	20cm~1m	○海の中にいる人は、海からはなれる。
種類	予想される津波の高さ	予想される被害と取るべき行動													
大津波警報	5m以上	木造の家は壊れたり、流されたりする。 ○海や川の近くにいる人は、高台やひなたなどに早めに避難する。 低い土地では津波が襲く。													
津波警報	1~3m	○海や川の近くにいる人は、高台やひなたなどに早めに避難する。 小さな船や小舟は沖に避難される。													
津波注意報	20cm~1m	○海の中にいる人は、海からはなれる。													

※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。
(リンク：<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>)

※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。
(リンク: <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>)

第3時:津波災害への取り組み ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

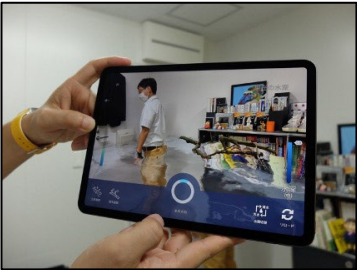
T:先生 C:児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
まとめ :5分	T:国や県,市町村では,津波の被害を減らすための取り組みをしているのですね。津波が発生しそうときには,みなさんに早く知らせるための仕組みがあります。気象庁も,情報を発信しています。津波は地震が原因で発生するので,地震があった後には特に津波情報に注意する必要がありますよね。 T:これからシンキングツールを配布します。3つに分かれたそれぞれ質問に合う理由と思うデータを,それぞれの枠にあてはめてみましょう。その次に,みなさんができる対策を考えて緑のカードに記入してください。 T:あてはめる作業が終わったら,グループの中で確認しましょう。 T:では,グループから発表をお願いします。(1グループ程度) T:もし津波が発生してしまった時には,国や県,市町村が出した情報をもとに一人ひとりが正しい行動をとって,自分や家族の命を守るしかありません。きちんとした備えが必要ですね。	T:画面④「シンキングツール_津波災害を防ぐための対策」を生徒に配布。	画面④

第4時:風水害への取り組み ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

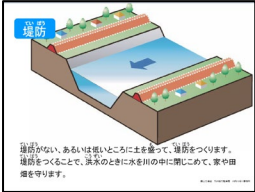
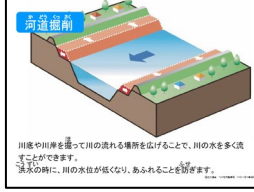
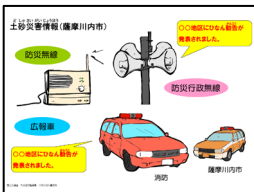
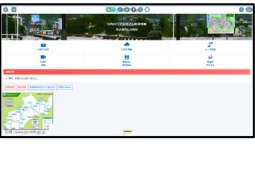
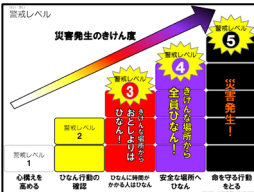
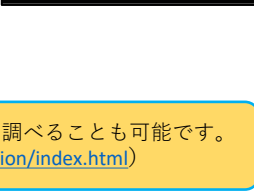
T:先生 C:児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
導入：10分	T：前回の授業では、津波災害を防ぐための取り組みについて学習しました。今回は風水害について学習します。知っている風水害はありますか？ (C：R2球磨川豪雨，西日本豪雨，九州北部豪雨など) T：風水害はどんなところで起こるのでしょうか？ (C：川の近く，土地が低いところ，山の近くなど) T：みなさんが住んでいる地域も，近くに川内川が流れていますね。実際に，過去に大きな洪水が何度も起こっています。 T：洪水によって浸水するとどのようになるか、タブレットを使って体験してみましょう。（浸水ARの入ったタブレットを生徒に渡す。） (C：タブレットで浸水ARを体験する)	T：画面①「配信_薩摩川内市・さつま町での洪水被害の写真」を画面配信する。 T：画面②「配信_平成18年水害写真」を画面配信する。 T：画面③「配信_浸水AR体験イメージ」を画面配信する。	画面①  画面②  画面③  ※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。 (リンク：https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html)

第4時:風水害への取り組み ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T:先生 C:児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
展開 : 30分	T:風水害から身を守るために、どのような取り組みがされているのでしょうか？ (C:砂防ダム、放水路、防災ステーション、ダムをつくる、防災マップなど) T:薩摩川内市・さつま町でも、洪水が起きるたびに様々な取り組みをして、また洪水が起きないようにしてきました。それでも、完全に洪水を防ぐことは難しいのです。 T:平成18年洪水で被災した方が体験を語ってくれた動画がありますので見てみましょう。 T:お話をしてくださった方たちはなぜ逃げ遅れてしまったのでしょうか？ (C:今までの経験上油断をしていたから、災害情報を知らなかったから...)	【画面④】～【画面⑬】を児童の発言に合わせて画面配信する。 T:画面④「配信_堤防」を画面配信する。 T:画面⑤「配信_分水路」を画面配信する。 T:画面⑥「配信_河道掘削」を画面配信する。 T:画面⑦「配信_鶴田ダムの洪水調整」を画面配信する。 T:画面⑧「配信_洪水時避難場所の看板」を画面配信する。 T:画面⑨「配信_土砂災害情報（薩摩川内市）」を画面配信する。 T:画面⑩「Webカード_キキクル」を画面配信する。 T:画面⑪「Webカード_早よ見やん川内川」を画面配信する。 T:画面⑫「配信_警戒レベル」を画面配信する。 T:画面⑬「Webカード_ハザードマップ」を画面配信する。（薩摩川内市とさつま町の二種類あり） T:画面⑭「Webカード_重ねるハザードマップ」を画面配信する。 T:画面⑮「動画カード_平成18年洪水の体験談」を画面配信する。	画面④  画面⑤  画面⑥  画面⑦  画面⑧  画面⑨  画面⑩  画面⑪  画面⑫  画面⑬ (薩摩川内市)  (さつま町)  画面⑭  画面⑮ 

※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。
(リンク: <https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>)

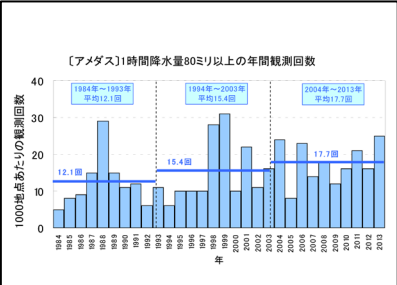
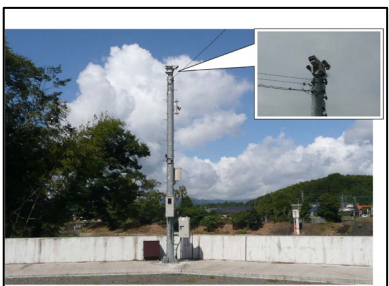
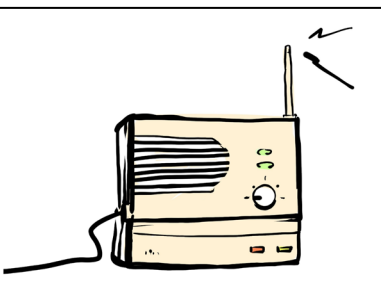
第4時:風水害への取り組み ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T:先生 C:児童

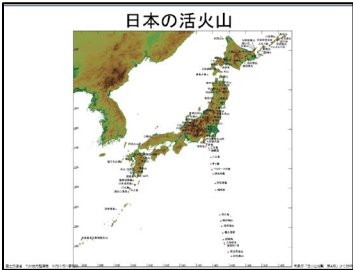
流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
ま と め : 5 分	T:国や県,市町村では,洪水の被害を減らすための取り組みをしているのですね。また,洪水が発生しそうなときには,みなさんに早く知らせるための仕組みがあります。気象庁も,情報を発信しています。 T:これからシンキングツールを配布します。 3つに分かれたそれぞれ質問に合う理由と思うデータを,それぞれの枠にあてはめてみましょう。その次に,みなさんができる対策を考えて緑のカードに記入してください。 T:あてはめる作業が終わったら,グループの中で確認しましょう。 T:では,グループから発表をお願いします。(1グループ程度) T:もし洪水が発生してしまった時にどのような行動をとればよいか,事前に考えておくことで,逃げ遅れる危険を減らすことができます。情報をもとに一人ひとりが正しい行動をとって,自分や家族の命を守るしかありません。きちんとした備えが必要ですね。	T:画面⑩を生徒に配布。	画面⑩

第4時：風水害への取り組み 参考資料

流れ	参考資料			
導入：10分	 台風(沖縄県宮古島市)	 土砂石流(熊本県阿蘇市)	 水害(福岡県)	 水害(熊本県)
導入：10分	 水害(熊本県)	 水害(熊本県)	展開：30分 	 がけ崩れ工事(さいたま町)
展開：30分	 ダム(大橋(大津市))	 気象カメラ(熊本県)気象観測所	まとめ：5分	

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T：先生 C：児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
導入：10分	T：前回の授業では、日本で起こる風水害と、被害を防ぐための取り組みについて学習しました。今回は火山と大雪災害について学習します。知っている災害はありますか？ (C：＜火山＞桜島、口永良部島、硫黄山、＜大雪＞寒いところなど) T：大雪災害は寒い地域で起こりそうですね。火山による災害は、火山があるところで起こりますね。 T：噴火する火山を、「活火山」と呼んでいます。日本にはたくさんの火山があります。みなさんの身近にもありますね。火山の大噴火はめったに起こりませんが、もし起こってしまったら大変な災害になります。火山災害から身を守るために、どんな取り組みをしているのでしょうか。	T：画面①「配信_噴火被害の写真」を画面配信する。 T：画面②「配信_世界の火山の分布」を画面配信する。 T：画面③「配信_日本の活火山」を画面配信する。	画面①  画面②  画面③  ※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。 (リンク：https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html)

第5時:火山災害への取り組み/まとめ ロイロノート活用の流れ

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T：先生 C：児童

流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
展開：15分	T：火山や大雪を防ぐために、どのような取り組みがされているでしょう？ (C：火山を監視する、なだれを防ぐ柵をつけるなど) T：活火山の中でも活動が活発な火山は、気象庁が常に監視しておいて、噴火が起こりそうかどうかを調べています。もし噴火しそうな状態になったら、登山を禁止したり、周りの住民を避難させたりします。	T：画面④「配信_噴火警戒レベル」を画面配信する。	画面④ 
展開：20分	T：これまで地震、津波、風水害、火山、大雪の5つの自然災害について学習してきました。国や鹿児島県、薩摩川内市・さつま町では、自然災害を防ぐためにさまざまな取り組みをしていましたね。 T：今からワークシートを配布するので、これまで学習してきたことを思い出して災害への取り組みや考えたことをワークシートに記入して下さい。 T：それでも、自然災害は必ず起こります。命を守るためには、どうしたらいいのでしょうか？ T：今からワークシートを配布するので、グループで話し合い、これまで学習してきたことを思い出して自然災害に備えて私たちにできることを考えてみてください。考えたことをワークシートに記入して下さい。 模造紙などの紙にリスト化させ、発表させる。洪水が起こった場合の避難や防災マップについて、家の人と話し合ってきた結果を発表させる。	T：画面⑤「ワークシート_学習のまとめ」を開く。 「全員で解答」ボタンを押す。 「通常モード」を押す。 T：画面⑥「配信_命を守るための情報」を画面配信する。 T：画面⑦「ワークシート_自然災害に備えて私たちにできること」を開く。 「全員で解答」ボタンを押す。 「通常モード」を押す。	画面⑤  画面⑥  画面⑦ 

※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。
(リンク：<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>)

●ロイロノートを活用した学習の流れ

T：先生 C：児童

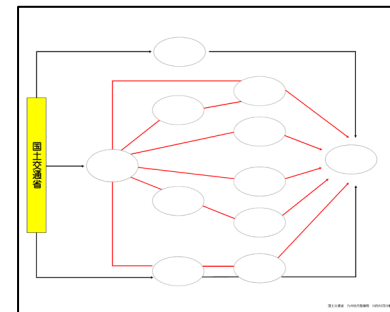
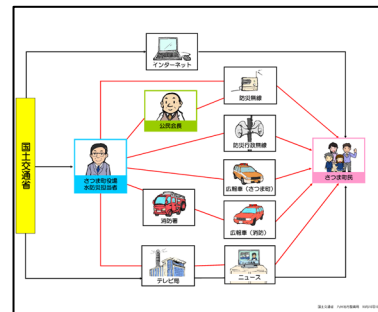
流れ	教師の発問（児童の反応）	ロイロノートの操作	ロイロノート画面
まとめ ：5分	T：これは非常持出袋といって、いざというときにすぐに持ち出せるように、避難に必要なものを入れておく袋です。みなさんも、いざというときに備えて非常持出袋を準備しておきましょう。 T：国や鹿児島県，薩摩川内市・さつま町の取り組みに加えて，みなさん一人ひとりが防災への知識と心構えを持つことで，自然災害の被害から命を守ることができるのですね。	T：画面⑧「配信_非常持出袋」を画面配信する。 T：画面⑨「配信_薩摩川内市総合防災訓練の写真」を画面配信する。 T：画面⑩「配信_さつま町避難訓練の写真」を画面配信する。	画面⑧  画面⑨  画面⑩  ※災害の写真やデータは「防災教育ポータル」で自ら調べることも可能です。 (リンク：https://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html)

第5時:火山災害への取り組み/まとめ 参考資料

流れ

展開
：20
分

參考資料



まとめ
：5
分

